

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	肺内パーカッション換気療法(IPV)併用による全肺洗浄の洗浄効率に関する検討			
2. 対象患者	当施設で全身麻酔下に特発性肺胞蛋白症で全肺洗浄時にIPVを施行した患者様			
3. 対象となる期間	2018年 3月 1日 ~ 2019年 4月 30日			
4. 実施診療科等	集中治療部、臨床工学部			
5. 研究責任者	氏名	加藤尚嵩	所属	臨床工学部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	全肺洗浄は肺胞蛋白症に対する標準的な治療法です。しかし、治療する際に生理食塩水を肺に対して注入と排液を繰り返すため、低酸素血症などが出現する可能性がある侵襲的な治療法であることは否めません。そこで気道クリアランスの向上と排痰補助目的でよく用いられるIPVを併用することで、分泌物を柔らかくし移動させやすくすることで全肺洗浄の効率が向上する可能性、洗浄回数の削減効果があるか検討します。			
8. 研究の目的	全肺洗浄の際に注入し排液された生理食塩水の濁度を測定し、推定される蛋白除去量からIPV併用による効果を検討します。さらに、IPV施行のタイミング、全肺洗浄の洗浄回数の削減効果を検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	IPVを併用した2症例、計3回の全肺洗浄を行った治療記録(洗浄回数、洗浄液のイン・アウト量、IPV施行条件、廃液の濁度)、治療前後の胸部X線画像を参照します。解析方法に関しては、廃液の濁度と排液量から推定蛋白除去量を算出し、IPV介入前後の推定蛋白除去量を統計解析を行います。			
10. 個人情報の保護	本研究は対象となる患者様の診療記録からえられた情報を用いますが、氏名・住所・電話番号等個人を特定できる情報は利用しません。学会発表や論文とする際も、個人が特定できない形での使用となります。対象者から拒否の申し出があった場合、当該患者様のデータは使用しません。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文投稿等の成果が公表されていた場合は、その結果を修正することはできません。			
11. 利益相反に関する状況	本研究に関わる利益相反状態はありません。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 臨床工学部 加藤尚嵩			
	電話	0172-39-5457	FAX	0172-39-5354